



上陽エリア

JOYO AREA

橋本勘五郎が手掛けた洗玉橋を含め、数多くの石橋が残るエリアです。星野川の上流から一連、二連と続く石橋は「ひふみよ橋」と呼ばれ、ホテルの地としても知られています。



HISTORY

▶星野川の急流に沿って軒を重ねる上陽エリアには、元禄時代銅山があったとされている。最盛期には 800 人の鉱夫が働いていたといわれており、これが集落となっ



1920 年頃の様子

ていった。明治から昭和初期にわたりかけられた石橋は、四連の宮ヶ原橋を含め 12 基残されており、日本一の石工と呼ばれた種山石工の優れた技術と良質な八女産凝灰岩で造られ、全国に誇る八女の文化遺産である。



立花エリア

TACHIBANA AREA

九州有数のタケノコの産地、梅の産地として名高く、豊富な農産物がとれるエリアです。拠点となる道の駅たちばなは、全国直売所甲子園日本一の実績を誇っています。



HISTORY

▶江戸時代、柳川藩によって築かれた矢部川堤防「千間土居」には、樹齢 300 年を越すクスの大木が残されている。また、藩御用窯として栄えた「男ノ子焼」を



1948 年頃の様子

まちづくりの一環として再興。柳川藩の特色を今なお伺い知ることができる。直木賞作家五木寛之、洋画家田崎廣助などを輩出している。